

# KoteLyzer<sup>®</sup> HANDY PRO<sup>®</sup> 取扱説明書

ver.202407

コテライザーハンディ・プロ

## 警告 ご使用前に必ずお読みください。

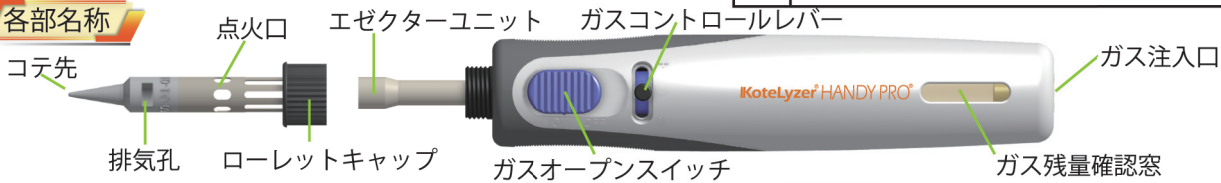
このたびはコテライザー 70 をお買い上げいただき誠にありがとうございます。  
本品はボタンガスを使用した熱器具です。怪我や事故を防止するため  
ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。  
また、「取扱説明書」と「保証書」は大切に保管してください。

ご使用前に

本体のガス残量確認窓（透明部分）を見て、  
液化ガスが入っている事を確認してください。  
少ない場合は、専用のガス（品番：70-59、70-60）  
を図のように注入してください。  
※注入時、ガスが漏れる場合があります。  
ガスが皮膚に付着した際、凍傷の恐れがあります。



## 各部名称



## ご使用上の注意

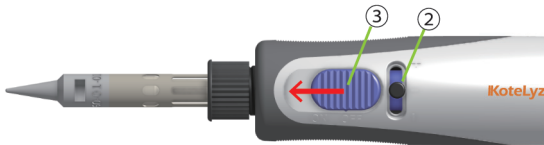
- ①ガス注入は火気のある所では行わないでください。
- ②換気の悪い場所では、使用しないでください。
- ③電気コテ用の筒型コテ置き台を使用しないでください。  
熱がこもり、本体を焦がし火災の原因となります。
- ④あやまって落としたり、ぶつけたりして強いショックを与えた場合は  
製造元サービスセンターにご相談ください。
- ⑤燃料には必ず当社の純正ガス（工業用無臭液化石油ガス）を使用してください。
- ⑥作業の中断・ガスの注入時・使用後はガスオープンレバーを OFF にして、  
確実にガスを止めてください。
- ⑦使用中に燃焼部分や高温金具等に手や身体を触れないでください。
- ⑧分解や改造をしたり、当社以外の部品を装着しないでください。
- ⑨アルコールやアルコールベースのクリーナーで本体を拭かないでください。

## 保管上の注意

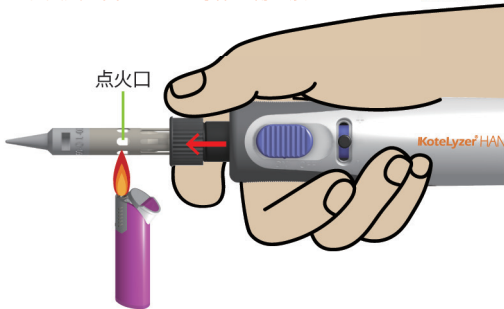
- ①40℃以上の所や直射日光のあたる場所には置かないでください。
- ②車中の保管、特にフロントガラス等の窓付近、及びトランクルーム内での保管は  
おやめください。ガス圧が高くなり火災・爆発の原因になります。
- ③幼児の手の届かない所に保管してください。
- ④コテ先及びホットブローが冷えた事を確認して収納してください。
- ⑤使用後はガスコントロールレバーを右端（最大）で保管してください。  
（内部部品への負荷を軽減するためです。）

## 着火方法

- ①排気孔をガスオープンスイッチと同一の向きにしてください。
- ②ガスコントロールレバーを中央の位置にします。  
ただしガスの性質上、  
●気温が約 25℃以上の時（ガス吐出の勢が増す）  
ガスコントロールレバーを中央から左側に動かして調整してください。  
○気温が約 15℃以下の時、またはガス注入直後（ガスが気化しにくい）  
ガスコントロールレバーを中央から右側に動かして調整してください。
- ③ガスオープンスイッチを ON にしてガスを出します。



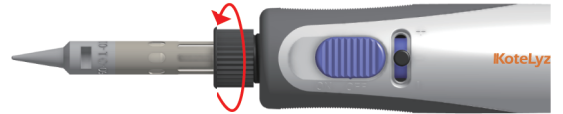
- ④下図のようにローレットキャップを指先で完全に押し上げたまま、  
点火口にライター等で点火します。  
※排気孔からは、熱風が出ますので身体や物が触れないように注意してください。



- ⑤点火口の内部が赤になったら、ローレットキャップから指先を離します。  
指先を離すとローレットキャップが元の位置に戻り点火口を塞ぐ事で炎が消えます。
- ⑥炎が消える事でガスと空気が触媒に反応して熱に変わる触媒反応のみとなります。  
（炎が完全に消えた状態で使用しないと、コテ先の中の触媒の寿命を縮めます。）
- ⑦コテ先の温度はガスコントロールレバーで調整します。
- ⑧ご使用後はガスオープンスイッチを OFF の位置まで確実に戻してガスを止めてください。  
※ガスコントロールレバーではガスは止まりません。

## コテ先の交換方法

- ①ローレットキャップを反時計回りに回して取り外します。
- ②新しいコテ先やホットブローに交換してローレットキャップを時計回りに回して  
装着します。



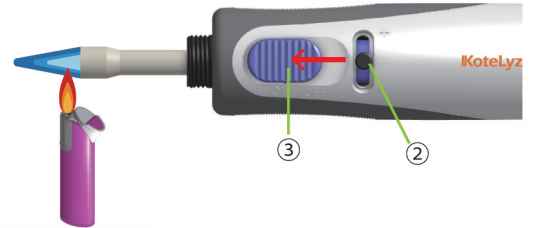
## ホットブローとして使う場合

コテ先を外して、ホットブローチップを取り付けると熱風器になります。  
操作方法は半田コテと同じです。

注意：先端から熱風が出るので身体や物が触れないように注意してください。  
ホットブローチップ先端に火をつけないでください。着火は点火口で行います。

## トーチとして使う場合

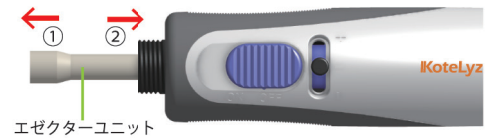
- ①ローレットキャップを緩めてコテ先を外してください。
- ②ガスコントロールレバーを中央の位置にします。
- ③ガスオープンスイッチを ON にしてガスを出し、先端にライターで着火します。
- ④作業の必要に応じてガスコントロールレバーを動かし、炎の長さを調整してください。



## エゼクターの交換方法

ガスがつかまった場合はエゼクターユニットを交換します。

- ①エゼクターユニットの先端を持って本体に沿ってまっすぐ上に引き抜いてください。
- ②新しいエゼクターユニットの組み込みは、カチッと音がするまで確実に本体に沿って  
まっすぐ押し込んでください。（少し回しながら押し込むと簡単に組み込めます。）



## オプションパーツ

半田コテ先		60-01-02		60-01-03		60-01-04	
60-01-01							
	Φ1	巾 2.4	Φ2	45°	巾 5		
ホットブロー		60-01-52					
		内径	Φ4.7				
その他		60-07U		60-14		専用ガス	
60-02		60-07U		60-14		70-59	70-60
	(保護キャップ)		(エゼクターユニット)			(150g)	(270g)
						70-61	冬季用
						(270g)	

## 「故障かな？」と思ったら

状態	原因	処理
着火しない。	①ガスが入っていない。 ②ガスの吐出量が少なすぎる、または多すぎる。 ③エゼクターのノズル孔が詰まっている。	①ガスを注入してください。 ②ガスの吐出量を調整してください。 ③新しいエゼクターと交換してください。
着火するが触媒が反応しない、または温度が上がらない。	①ガスの吐出量が少なすぎる、または多すぎる。 ②エゼクターの内部に異物が付着している。 ③触媒の寿命。	①ガスの吐出量を調整してください。 ②新しいエゼクターと交換してください。 ③新しいコテ先またはホットブローと交換してください。
トーチとして使用の場合にシャープな炎が出ない。	①ガスの量が少ない。 ②エゼクターの内部に異物が付着している。	①ガスを注入してください。 ②新しいエゼクターと交換してください。



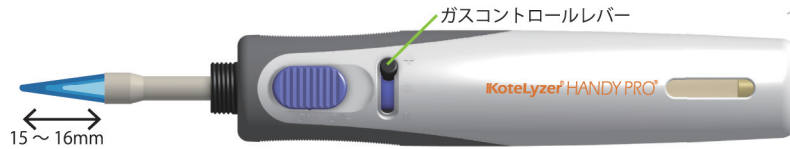
①エゼクターユニットの清掃  
コンプレッサーのエアガンや清掃用のダストスプレーでエゼクターの上側から噴くとつまりが改善される場合もあります。

②適正な作業環境温度（気温）  
ガスは気温で圧力が変動するため、猛暑日や真冬日の時は使用できない場合があります。  
ノーマルガス使用時：約 10 ～ 35℃  
冬季用ガス使用時：約 5 ～ 20℃

ノーマル 冬季用

## ガスの吐出量調整について

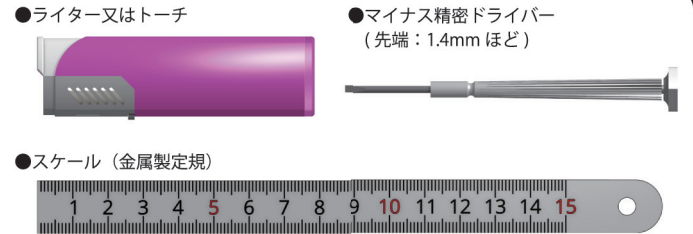
工場出荷時には使用環境温度を 20℃を基準に、ガスコントロールレバーが右端（MAX）の状態、炎長が 15～16mm になるように調整されています。



## 【事前準備】



### 用意するもの



## 【吐出量調整】

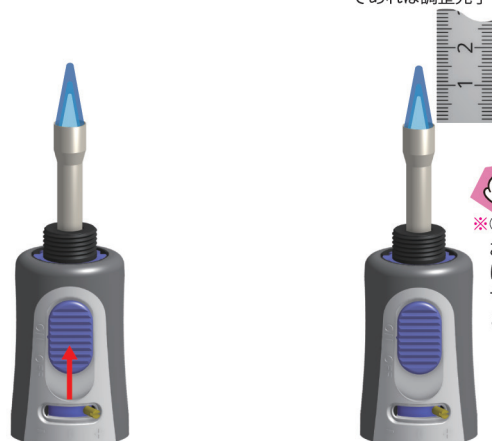
※注意 吐出量調整の際は、ガスオープンスイッチを OFF の状態でおこなってください。

- ①吐出量を上げたい場合は右へ、下げたい場合は左へピンを移動させてマイナスドライバーでピンを緩めてください。
- ②ピンを緩めた状態で逆側にピンを動かしてください。
- ③マイナスドライバーでピンを締めてください。
- ④ピンを締めた状態で、もう一度ピンを逆側に動かしてください。



⑤ガスオープンスイッチを ON にしてライターで着火して下さい。

⑥スケールで炎の高さを計ります。ピンが右端の時に炎長が 15～16mm であれば調整完了です。



製造元  
製品仕様・修理のお問い合わせ

**中島銅工株式会社 NAKAJIMA**  
サービスセンター

〒355-0225 埼玉県比企郡嵐山町鎌形 683

Tel : 0493-62-7295 Fax : 0493-62-3895

（平日 10 : 00 ～ 17:00 土日祝祭日を除く）

🌐 ホームページ 🛒 オンラインショップ

<https://nakajimadoko-co-jp.prm-ssl.jp>

中島銅工

🔍 検索

